

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山本町観光集客・地域促進事業			会計	款	項	目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課				
施策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	井戸 一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	観光客（10代～30代の女性中心）、市民、地元商店	意図	流山本町地域の魅力を市内外に発信し、観光客の集客及び滞在時間の延長により、地域の活性化を図る。
事業内容	流山本町地域の資源である新選組近藤勇ゆかりの地を題材に、人気の女性向け恋愛アドベンチャーゲームのコンテンツを活用したスタンプラリーイベントを実施した。特記として、当該ゲームキャラクターの等身大パネルの設置による撮影スポット作りや、スタンプラリーブックに周辺地域の飲食店等のMAPを添付し、情報提供を行った。			
事業開始から現在までの状況変化	当該イベント実施を通して、流山本町の多種多様な観光資源を市内、近隣市のみならず、広域に周知することができた。また、地元の個人商店（畳屋、布団屋、和菓子屋、レストラン）が認知され当該店舗の収益が増える、流鉄流山線の乗車率が上昇するなどの地域に高い経済効果をもたらすことができた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	当該イベント参加者			2077	人	↑↑↑	実績
②	イベント参加者の使用金額			1035	万円	↑↑↑	実績	
③	イベント協力参加店舗			48	店	↑↑↑	実績	
④	イベント参加者の内当該地域再訪希望数			1768	人	↑↑↑	実績	
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 流山本町地域への観光者数は増加傾向にあるが、滞在時間の短さ及び近隣市居住の来訪者が中心であることから、地域の経済効果に繋がっていない現状がある。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				6,678,000				
事業費(b)(円)				5,000,000				
うち一般財源				3,000,000				
職員給与費(c)(円)				1,678,000				
人役・職員(人)				0.25				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	観光客の本地域での滞在時間の短さ、広域からの来訪者が少ないため、来訪者の年齢層を広げ、多種多様な観光資源の認知を図ることで、リピーターを増やし、地域に経済効果をもたらす。	③取組の課題	イベント実施により、広域への周知ができ、幅広い年齢層の方に来訪いただいた。地域内店舗において売り上げが上がり、経済効果を高め、地域を自分達で盛り上げていく機運も高まった。
②今年度(H29)に実施した取組	流山本町地域の資源である新選組近藤勇ゆかりの地を題材に、人気の女性向け恋愛アドベンチャーゲームのコンテンツを活用したスタンプラリーイベントを実施した。	④今後(H30以降)の改善計画	実施した事業が好評だったことから、平成30年度についても当該コンテンツを活用した事業を実施し、地域内飲食店の協力店を増やし、店舗のさらなる売り上げの向上を図る。